

昨年、北米スバルが公開した新型BRZ。国内で販売された際、ホイールを交換するならGT X04をリストに入れておきたい

新型BRZへの
装着イメージ
(CG合成)

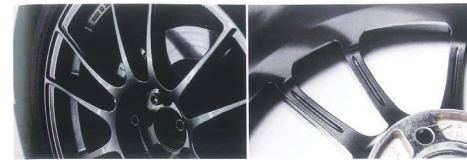


GT X04 [86&BRZ用サイズ]

SIZE	FACE	INSET	PRICE
7.5×18	SMI	48	4万1000円
8.5×18	SMI	44	4万3000円
9.5×18	CV	40	4万5000円

カラー：ダークガンメタ

サイズは18&19インチでフェイスデザインはSMI（セミコンケイブ）、CV（コンケイブ）、SC（スーパーコンケイブ）の3タイプ。86&BRZには18×8.5 +44のSMがベスト。その気になれば18×9.5 +40 CVを履かすことも可能だ



スポーク部は裏側の贅肉を落として断面積は小さく設計されている。また天面を細く仕上げることで軽快感を強めるなど視覚効果も考慮したデザイン。スポークは直線ではなくS字を描くようにしてリム部に伸びている

御タナベ ☎072-728-6700
<https://www.rd-tanabe.com/>

SSR

SSR GT X04

強度をキープしつつ
極限までシェイプアップした铸造1ピース

文&写真@芝 修

人気のGTシリーズに
最軽量モデルの登場だ！

ターボエンジン全盛の今日、非力な2.0のNAエンジンを搭載する86&BRZにとって、軽量ホイールは足まわり系の負担を軽減するための有効なウェポンと言える。ホイールを軽くすることで、これまで以上にFRならではの軽快な動きを引き出せることになる。

SSRはスポーツカーからセダン、ミニバン、SUVまで車種に応じたさまざまなホイールをラインアップしているが、GTシリーズはレーシングテクノロジーをフィードバックさせたスポーツモデル。そのなかでも今年から新たに加わったGT X04はGTシリーズの最軽量モデルに仕上げられている。

工法は铸造1ピース。型にアルミを流し込んで製造する铸造ホイールの場合、強度を高めるために各部の肉厚が増して重くなるというのが一般論。しかし、GT X04はSSR独自の手法を用いることで铸造ながら十分な強度をキープしつつ極限の軽量化を図っている。リム部はフローティング製法をさらに高度化してインナーリムを肉薄にできるF.T・R製法。そしてスポーク部は裏側の贅肉をスリット状にそぎ落とし、後にショットピーニング処理を加えることで強度を高めている。さらに落とし込んだセンター部分はハブの厚みが徹底的に制御され、センターキャップまでもオフショニングなど軽量化へのこだわりは半端じゃない。カラーはダークガンメタのみ。シャープなスポークの濃いカラーリングが86&BRZの足もとを引き締めてくれる。

ノスタルジー漂う3ピースホイールも人気

軽量化にこだわらずドレスアップ思考で足まわりをカスタマイズするなら3ピースホイールもあり。フォーミュラエアロメッシュはエアロプレー

トを装備して、デッシュとメッシュを融合させた斬新なデザイン。またSSRプロフェッサーTF1は、3ピースでありながら軽量化と強度を考慮したス

ポーツモデル。ディスクとファスナー部の段差を大きく取ったブリッジマウント仕様によって、3ピースならではのディープ感が強調されている。



Formula AERO MESH

サイズ：7.0×18～12.5×19、価格：7万9000～11万1000円



SSR Professor TF1

サイズ：7.0×18～12.5×20、価格：7万3000～11万5000円

